



## 平成26年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 クロスプラス株式会社  
 コード番号 3320 URL <http://www.crossplus.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 文夫  
 (氏名) 山本 大寛

TEL 052-532-2211

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年1月期第1四半期の連結業績(平成25年2月1日～平成25年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第1四半期	18,644	2.6	△1,692	—	△1,663	—	△1,089	—
25年1月期第1四半期	18,180	4.6	△1,224	—	△1,181	—	△645	—

(注) 包括利益 26年1月期第1四半期 △665百万円 (—%) 25年1月期第1四半期 △529百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第1四半期	△148.94	—
25年1月期第1四半期	△88.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年1月期第1四半期	37,308	16,407	44.0	2,242.10
25年1月期	39,153	17,218	44.0	2,352.98

(参考) 自己資本 26年1月期第1四半期 16,407百万円 25年1月期 17,218百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年1月期	—	—	—	—	—
26年1月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日～平成26年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,200	△3.3	△1,700	—	△1,600	—	△1,200	—	△163.98
通期	79,000	△0.3	500	—	600	—	200	—	27.33

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期1Q	7,718,800 株	25年1月期	7,718,800 株
② 期末自己株式数	26年1月期1Q	400,990 株	25年1月期	400,930 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期1Q	7,317,817 株	25年1月期1Q	7,317,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の改善や新政権の経済政策への期待から円安、株高が進むとともに、輸出関連企業を中心に収益が改善するなど、徐々に回復の兆しが見えております。一方個人消費については、資産効果により高額商品は持ち直しておりますが、消費者の節約志向は依然根強いものがあり、本格的な回復には至っておりません。

このような状況の中、当社グループは、㈱ヴェント・インターナショナルの立て直しにグループをあげて取り組むとともに、強みである「マスマッションの単品競争力」、「ブランド力」、「売場提案型トータルウェアリングの企画力・提案力」を磨き、経営基盤の強化に努めてまいりました。

製造卸売グループは、トップスからボトムの売場提案型トータル販売による量販店への販売強化、専門店への販売拡大等に注力いたしました。その結果、量販店は大手GMSとの取組みによるPB商品が順調に推移したことで増加いたしました。専門店が都市型店舗向けのトータル提案企画の拡大やヤング部門専任部署による販売強化により大手専門店チェーン向けが増加いたしました。スタイリング㈱で展開する有力専門店向けODMが苦戦したことで、減少いたしました。無店舗はカタログ通販の新ブランドの取組み、百貨店はパンツ専門ショップへのPB商品の販売により、いずれも増加いたしました。以上の結果、製造卸売グループは、売上高は159億25百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

SPAグループは、ミセスSPA事業では、好調な百貨店市場において、「ジュンコ シマダ」を軸にそのノウハウを他ブランドに活用することで収益改善に取り組んだ結果、「アツロウ タヤマ」が好調に推移いたしました。一方、ヤングSPA事業の㈱ヴェント・インターナショナルは、クロスプラスの人材・インフラの活用や経費削減による売上規模に見合った収支構造への転換に取り組むとともに、不採算店舗の撤退を進めました。以上の結果、SPAグループは、売上高は27億61百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は製造卸売グループの拡大により186億44百万円(前年同期比2.6%増)となりました。一方営業損益は急激な円安による仕入原価の上昇と販売価格への転嫁の遅れによる売上総利益の減少に対し、販売費及び一般管理費の削減を図りましたが、16億92百万円の損失(前年同期は12億24百万円の営業損失)、経常損益は16億63百万円の損失(前年同期は11億81百万円の経常損失)となりました。四半期純損益は、特別利益として固定資産売却益1億85百万円の計上等により、10億89百万円の純損失(前年同期は6億45百万円の純損失)となりました。

なお、当社グループは衣料品事業のみの単一セグメントのため、セグメント別の記載はしていません。

グループ別、販売チャネル別の売上高は以下のとおりです。

区分		金額 (百万円)	前年同期比 (%)	
製造卸売 グループ	量販店	7,448	+7.6	
	専門店	6,345	△1.7	
	無店舗	1,618	+21.7	
	百貨店	220	+3.2	
	その他	292	△9.8	
	製造卸売グループ合計	15,925	+4.5	
SPA グループ	ヤングSPA事業	直営店	1,101	△27.7
		その他	370	+7.1
	小計	1,471	△21.2	
	ミセスSPA事業	直営店	728	△0.8
		その他	561	+38.7
	小計	1,289	+13.3	
SPAグループ合計	2,761	△8.2		
グループ合計	18,687	+2.4		
消去	△42	—		
合計	18,644	+2.6		

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、373億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億45百万円の減少となりました。

流動資産は256億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億68百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が28億41百万円減少したことによります。

固定資産は116億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億23百万円の増加となりました。固定資産の増加の主な要因は、投資有価証券が6億25百万円増加したことによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は209億円となり、前連結会計年度末に比べ10億33百万円の減少となりました。

流動負債は188億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億46百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が6億61百万円減少したことによります。

固定負債は20億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が56百万円減少したことによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、164億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は利益剰余金が12億36百万円減少したことによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年1月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,311	3,470
受取手形及び売掛金	15,356	14,456
電子記録債権	883	1,135
商品	4,314	5,335
貯蔵品	34	20
その他	850	1,265
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	27,744	25,675
固定資産		
有形固定資産	5,977	5,870
無形固定資産	326	266
投資その他の資産		
投資有価証券	3,374	4,000
その他	1,730	1,495
投資その他の資産合計	5,105	5,495
固定資産合計	11,408	11,632
資産合計	39,153	37,308
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,064	13,402
短期借入金	3,200	3,200
1年内返済予定の長期借入金	227	227
未払法人税等	47	5
賞与引当金	98	197
返品調整引当金	100	49
ポイント引当金	33	25
その他	2,016	1,734
流動負債合計	19,787	18,841
固定負債		
長期借入金	340	283
退職給付引当金	1,134	1,086
役員退職慰労引当金	382	383
その他	288	305
固定負債合計	2,146	2,059
負債合計	21,934	20,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	13,192	11,956
自己株式	△532	△532
株主資本合計	16,612	15,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	952
繰延ヘッジ損益	77	83
為替換算調整勘定	△19	△4
その他の包括利益累計額合計	606	1,031
純資産合計	17,218	16,407
負債純資産合計	39,153	37,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
売上高	18,180	18,644
売上原価	14,320	15,729
売上総利益	3,859	2,914
返品調整引当金戻入額	109	100
返品調整引当金繰入額	79	49
差引売上総利益	3,889	2,966
販売費及び一般管理費	5,113	4,659
営業損失(△)	△1,224	△1,692
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	16	8
為替差益	—	14
受取家賃	5	17
その他	29	15
営業外収益合計	54	59
営業外費用		
支払利息	4	4
賃貸収入原価	3	17
固定資産除却損	—	6
その他	4	1
営業外費用合計	11	30
経常損失(△)	△1,181	△1,663
特別利益		
固定資産売却益	—	185
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	185
特別損失		
固定資産除却損	10	—
投資有価証券評価損	17	—
特別損失合計	28	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,209	△1,478
法人税、住民税及び事業税	12	5
法人税等調整額	△515	△393
法人税等合計	△502	△388
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△706	△1,089
少数株主損失(△)	△61	—
四半期純損失(△)	△645	△1,089



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△706	△1,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	403
繰延ヘッジ損益	17	5
為替換算調整勘定	13	14
その他の包括利益合計	177	424
四半期包括利益	△529	△665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△468	△665
少数株主に係る四半期包括利益	△61	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。